

令和5年度

第1年次入学者選抜
学生募集要項

学校推薦型選抜



豊橋技術科学大学

お知らせ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対応として、内容を変更することがあります。変更する場合は、本学ウェブサイト (<https://www.tut.ac.jp/exam/news.html>) に掲載します。

豊橋技術科学大学工学部入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

豊橋技術科学大学は、技術を支える科学を探究し、より高度な技術を開拓する学問としての“技術科学”の教育・研究を使命としています。この使命のもと、本学では学部・大学院一貫教育に重点を置いた特色ある技術科学教育を通じて、豊かな人間性と自然と共生する心を持ち、グローバルに活躍できる実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者・研究者を育成します。このため、本学では次のような人物を広く求めます。

1. 人と自然を愛し、地域社会やグローバル社会の発展に貢献する志を持つ人
2. 技術や科学を探究する志を持ち、それらの学習に必要な基礎学力がある人
3. 自ら積極的に学び、考え、行動し、技術科学の新しい地平を切り拓く志を持つ人

※各課程のアドミッション・ポリシーは8ページをご覧ください。

目 次

1	募 集 人 員	1
2	出 願 資 格	1
3	推 薦 要 件	2
4	課 程 の 選 定	2
5	出 願 手 続	2
6	選 抜 の 方 法	3
7	合 格 者 の 発 表	4
8	選抜の結果不合格となった者の個別学力検査等の受験について	4
9	入 学 の 辞 退	4
10	入 学 手 続 等	4
11	障害を有する入学志願者との事前相談について	5
12	検定料の免除について	5
13	入試情報の開示	5
14	入学前学習について	5
15	個人情報の取り扱いについて	6
16	安全保障輸出管理について	6
17	そ の 他	6
18	入学試験に関する問い合わせ	6
 (参考)		
	第1年次入学者に対する経済的支援のお知らせ	7
	各課程の入学者受入方針	8
	インターネット出願の流れ	11

第1年次学校推薦型選抜学生募集要項

1 募集人員

各課程の募集人員は、下表のとおりです。

各課程の内容については、入学案内を参照してください。

学部	課程	①工業に関する学科等	②普通科・理数に関する学科等
工学部	機械工学課程	3名	5名 一括募集
	電気・電子情報工学課程	3名	
	情報・知能工学課程	3名	
	応用化学・生命工学課程	3名	
	建築・都市システム学課程	3名	
合計		15名	5名

学校推薦型選抜の合格者（入学手続き者）が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

2 出願資格

① 工業に関する学科等

次のいずれかに該当する者で、人物・学業ともに優秀で出身学校長が責任をもって推薦できる者としてします。

(1) 令和5年3月高等学校の「工業に関する学科」，「総合学科」のいずれかを卒業見込みの者。

ただし、「総合学科」については、工業に関する教科・科目を20単位以上取得した（見込みを含む）者。

(2) 令和5年3月高等学校の「商業に関する学科」，「情報に関する学科」等を卒業見込みの者で、情報に関する教科・科目を15単位以上取得し（見込みを含む）、本学において出願資格を認められた者。（情報・知能工学課程にのみ出願可能）

※事前に出願資格を確認しますので、**令和4年10月7日（金）**までに入試課入試係へ**必ず照会願います。**

(3) 令和5年3月高等学校の「農業に関する学科」を卒業見込みの者。（応用化学・生命工学課程にのみ出願可能）

(4) 令和5年3月高等学校の「農業に関する学科」のうち、「農業土木科」を卒業見込みの者。（建築・都市システム学課程にのみ出願可能）

② 普通科・理数に関する学科等

令和5年3月高等学校の「普通科」，「理数に関する学科」等を卒業見込みの者で、人物・学業ともに優秀で出身学校長が責任をもって推薦できる者としてします。

なお、「普通科」，「理数に関する学科」以外の学科から出願する場合は、以下の教科・科目を履修した（見込みを含む）者を対象とします。

外国語：「コミュニケーション英語Ⅰ」

数学：「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B」または「理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ」

理科：「物理基礎」，「物理」，「化学基礎」，「化学」，「生物基礎」，「生物」の6科目のうち

「物理」，「化学」，「生物」のいずれかの科目を含む3科目以上

- ・ ①・②とも令和5年度大学入学共通テストの受験は免除します。
- ・ 本学の総合型選抜との併願はできません。
- ・ その他、出願資格に関し不明な点がありましたら、入試課へ照会願います。

3 推薦要件

- (1) 出身学校長が責任をもって推薦できる者であれば、人数に制限はありません。ただし、合格した場合に入学の確約ができる者とします。
- (2) 同一人を他の国公立大学と重複して推薦できません。

4 課程の選定

出願資格「①工業に関する学科等」の者については、「1 募集人員」の表に示す課程のうちから2課程(第1～2志望)を選ぶことができます。

出願資格「②普通科・理数に関する学科等」の者については課程を区別せず一括して入学者を募集し、原則として本人の希望する課程に配属します。ただし、希望人数の動向によっては、希望する課程に配属されない場合があります。

5 出願手続

ア. 願書受付期間

令和4年11月1日(火)～令和4年11月8日(火)17時までに本学必着のこと

※出願は郵送に限り、願書受付期間後に到着した願書は受理できません。

インターネット出願システムにより出願登録後、検定料を支払い、出願書類を送付してください。
インターネット出願システムの登録手続方法等については、11ページをご覧ください。

イ. 出願方法

出願方法は、次の4ステップです。

【ステップ1】インターネット出願登録

インターネット出願登録期間(令和4年11月1日(火)9時00分～令和4年11月7日(月)23時59分)

【ステップ2】検定料支払い

検定料支払期限までに、コンビニエンスストア等で検定料をお支払いください。
検定料支払期限: 令和4年11月7日(月)23時59分

【ステップ3】出願書類送付

「ウ. 出願書類等」を願書受付期間内に入試課入試係へ簡易書留速達で郵送してください。郵送以外の提出は受理しません。

○出願書類等の郵送先

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
豊橋技術科学大学入試課入試係

【ステップ4】受験票及び受験者心得の印刷

出願書類を受理した後、令和4年11月16日(水)から受験票の印刷が可能となります。インターネット出願システムより、受験時まで自身で必ず印刷(A4サイズ用の紙)してください。印刷した受験票は、試験当日必ず持参してください。

あわせて、受験者心得及び受験上の注意事項をメールにて送付しますので、試験日前に必ず確認してください。

※インターネットを利用することができない場合は、願書受付期間前に入試課入試係までご連絡ください。

ウ. 出願書類等

書 類 等	摘 要
① 出願確認票	出願登録後，A4サイズで印刷したもの。
② 写真票	出願登録後，A4サイズで印刷したもの。 写真は，正面上半身脱帽で出願3か月以内に撮影したものを使用。
③ 推薦書	本学ウェブサイト (https://www.tut.ac.jp/exam/collect.html) よりダウンロードした様式について，出身学校長が作成し，厳封したもの（ワープロソフトによる直接入力可）。
④ 調査書	文部科学省所定の様式により，出身学校長が作成し，厳封したもの。
⑤ 面接票	本学ウェブサイト (https://www.tut.ac.jp/exam/collect.html) よりダウンロードした様式について，本人が記入したもの（ワープロソフトによる直接入力可）。
⑥ 検定料	17,000円 出願書類の送付前に支払い手続きを済ませてください。
⑦ 住民票 (外国籍者のみ)	(現に日本国内に在住している外国人のみ) 国籍・在留資格・期間が記載されたものとします。在留カード(外国人登録証明書)(写)でも可。
⑧ 出願書類 提出用封筒	市販の封筒に①～⑤，⑦の書類を封入して，提出してください(2ページの出願方法を参照のこと)。

- (注) 1 出願が受理された場合，納入された検定料は，いかなる事情があっても返還しません。
 2 出願書類に不備がある場合は受理しません。
 3 一度受理した出願書類は返還しません。また，出願書類提出後は，記載事項の変更は認めません。ただし，現住所(連絡先)に変更が生じた場合は，速やかに届け出てください。
 4 出身学校長は，推薦書の作成にあたり，学習成績概評Aに属する生徒のうち，人物，学力ともに特に優秀で，責任をもって推薦できる者については，「学習成績概評」欄にⒶと標示してください。
 なお，この場合には「備考」欄にその理由を明示してください。

6 選抜の方法

入学者の選抜は，出身学校長から提出された推薦書及び調査書並びに小論文，面接，素養調査(数学，英語)，本人が面接票に記載する志望動機等の総合判定により行います。

なお，面接会場への作品(写真，図面等含む)の持ち込みは認めません。

(1) 小論文，面接及び素養調査

ア 小論文 課題は，当日指定します。

イ 面接 出願資格「①工業に関する学科等」の者については入学を希望する課程への適性に関する事，出願資格「②普通科・理数に関する学科等」の者については工学部への適性に関する事，について面接(口述試験を含む)を行います。

ウ 素養調査 【出題範囲】

- ① 工業に関する学科等
 - ・数学「数学Ⅰ」
 - ・英語「コミュニケーション英語Ⅰ」
- ② 普通科・理数に関する学科等
 - ・数学「数学Ⅰ，Ⅱ，A，B」
 - ・英語「コミュニケーション英語Ⅰ」

(2) 評価基準

本学での勉学に必要な基礎学力，勉学意欲等を評価します。

(3) 素養調査等の日時・場所

期 日	区 分	時 間	場 所
令和4年11月22日(火)	素養調査(数学)	9:20 ~ 10:00	豊橋技術科学大学
	素養調査(英語)	10:20 ~ 10:50	
	小 論 文	11:15 ~ 12:15	
	面 接	13:30 ~	

(4) 配点

面接(口述試験を含む)	90点
小論文	30点
素養調査(数学)	40点
素養調査(英語)	40点
推薦書・調査書	50点
合 計	250点

7 合格者の発表

令和4年12月12日(月) 11時

本学ウェブサイト(入試情報)に合格者の受験番号を掲載するとともに、同日付で推薦を行った出身学校長あてに合否を文書で通知し、併せて合格者には、「合格通知書」を出身学校長経由で送付します。(電話等による合否の照会には、一切応じません。)

8 選抜の結果不合格となった者の個別学力検査等の受験について

- (1) 「学校推薦型選抜」の結果、不合格となった者は、国公立大学(独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。)の「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの、合計二つの大学・学部の個別学力検査に出願し、受験することができます。
- (2) 上記(1)により、本学の一般選抜〔前期日程〕の受験を希望する者は、令和5年2月25日(土)に実施する「前期日程の個別学力検査」を受験することができます。この場合、令和5年度大学入学共通テストにおいて、本学が指定する教科・科目を受験した者に限ります。

詳細については、「令和5年度第1年次一般選抜〔前期日程〕学生募集要項」(令和4年11月上旬公表)を参照してください。

9 入学の辞退

学校推薦型選抜の合格者は、選抜の趣旨から、入学手続きを行い入学するのが当然ですが、特別の事情があり、入学を辞退しようとする場合は、推薦を行った出身学校長から、令和5年2月15日(水)17時までに、「推薦入学辞退願」(様式任意)を豊橋技術科学大学長に提出し、その許可を得なければ入学の辞退は認めません。

10 入学手続等

入学手続は、郵送で行ってください。なお、詳細については合格者に通知します。

(1) 入学手続期限

令和5年1月18日(水) 17時必着

(2) 納入経費(予定額)

入学金282,000円

授業料前期分267,900円(年額535,800円)

なお、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新入学金及び新授業料を適用します。

(3) 合格者で、入学手続期間内に入学手続を行わなかった者は、本学の学校推薦型選抜合格者としての権利を消失するとともに、出願済みの他の国公立大学の個別学力検査等を受験しても入学許可は得られないので、注意してください。

ただし、「9 入学の辞退」による推薦入学の辞退を許可された者は除きます。

(4) 出願資格が見込みであった者が、令和5年3月31日までに出願要件を満たさなかった場合は、入学を許可しません。

11 障害を有する入学志願者との事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害等（学校教育法施行令第22条の3に定める身体障害の程度及び障害者自立支援法に準拠）がある者は、その障害の種類、程度に応じ、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願前に、あらかじめ本学に申し出てください。

また、申し出に基づき相談が必要になった場合には、以下によります。

(1) 相談申請の期日

令和4年10月17日(月)まで

(2) 相談の方法

相談申請書（様式任意）に健康診断書等の必要書類を添付することとし、必要な場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

(3) 連絡先

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

豊橋技術科学大学入試課入試係 電話：0532-44-6581

12 検定料の免除について

志願者又は主たる家計支持者が自然災害等により、被災し、災害救助法の適用を受けた場合、検定料を免除することがあります。該当すると思われる場合は、事前に入試課までお問い合わせください。

13 入試情報の開示

本学では、出願書類として提出された調査書を、志願者本人からの請求に基づいて次により開示します。（代理人からの請求や、電話での請求はできません）

なお、請求方法の詳細については、入試課へお問い合わせください。

(1) 開示内容

「指導上参考となる諸事項」及び「備考」欄を除く項目

(2) 受付期間

令和5年4月3日(月)～令和5年4月21日(金)

(3) 開示に際し、志願者本人を確認するために必要な書類

令和5年度豊橋技術科学大学入学者選抜受験票（第1年次・学校推薦型選抜）

(4) 開示の請求及び開示方法

開示の請求は、志願者本人が入試課窓口で行うこととし、手続きが完了した者に対して閲覧により開示します。

14 入学前学習について

本学では、入学者に必要な最低限の基礎学力のうち、特に数学及び英語についての基礎学力を身につける方策として、第1年次学校推薦型選抜合格者に対し、入学前学習指導を実施しています。

教材は、当該年度の大学入学共通テストについてのレポート、数学は数学Ⅲを中心とした教材、英語はインターネットを利用した英語学習プログラムを用います。数学の教材は、テキストのほかDVD等による講義で、委託した外部機関から12月下旬に送付予定です。

15 個人情報の取り扱いについて

出願書類に記載された住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、適切に管理し、下記利用目的以外には使用しません。

- ① 入学者選抜、合格者の発表、入学手続き及びこれらに付随する事項
- ② 入学後の学務業務における学籍・成績管理
- ③ 入学者選抜方法改善のための統計データ

なお、国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って、学校推薦型選抜の合格者及び入学手続き等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願大学先の国公立大学に送達されます。

16 安全保障輸出管理について

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人豊橋技術科学大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生等の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。

17 その他

- (1) この要項に追加する事項等がある場合は、本学ウェブサイトでお知らせいたします。
- (2) 納入された検定料は、次に掲げる場合を除き、いかなる事情があっても返還しません。
 - ① 検定料を二重に払い込んだ場合
 - ② 検定料を払い込んだが出願しなかった場合
 - ③ 検定料を払い込んだが出願が受理されなかった場合

なお、返還手続に関する詳細は、本学から別途該当者に個別に連絡します。

18 入学試験に関する問い合わせ

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
豊橋技術科学大学入試課入試係
電話：0532-44-6581
E-mail nyushi@office.tut.ac.jp

第1年次入学者に対する経済的支援のお知らせ

本学では、豊かな人間性と国際的視野および自然と共生する心を持つ実践的・創造的かつ指導的な技術科学者の育成を目指しています。

特に、学業優秀・深い教養・国際性を備える次世代を先導する人材を養成するため、「豊橋技術科学大学 **優秀学生支援制度**」があります。

この制度には、本学の使命に合致した第1年次入学者に対し、奨学金による経済的支援を行う制度を設けています。

支援対象者は、第1年次入学者選抜（下記の入試）で合格し、入学した者とします。

■ 支援対象者

次の入試区分毎における成績最上位者

1. 学校推薦型選抜（工業に関する学科等）
2. 学校推薦型選抜（普通科・理数に関する学科等）
3. 一般選抜（前期日程）

■ 支援内容

奨学金 300,000 円（入学年度に1回に限り給付する）

◎優秀学生支援制度について

本学ウェブサイト <https://www.tut.ac.jp/student/program.html#anc02>

お問い合わせ先

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

豊橋技術科学大学 学生課生活支援係

TEL : 0532-44-6559

E-mail : seikatsu@office.tut.ac.jp

各課程の入学者受入方針

〔機械工学課程〕

機械工学課程では、機械工学の基盤となる力学、制御、システム工学、材料工学、生産加工学、エネルギー変換工学等の諸学問について基礎的知識を持ち、それらの知識を「ものづくり」に展開できる意欲と能力を持った実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者・研究者の養成を目指しています。そのため、次のような人物を広く求めます。

- ・ものづくりに強い関心を持ち、その発展に寄与する意欲と行動力がある人
- ・自然科学、数学、情報技術に関する基礎的な内容を理解し、物事を俯瞰的・論理的に捉えることができる人
- ・機械工学全般についての幅広い知識や技術の修得に強い関心を持ち、主体的・自律的・積極的に学ぶ意欲がある人

入学までに履修が望まれる教科・科目等

【高等学校普通科等から入学を希望する者】

各高等学校が定める教育課程に従い、すべての教科、科目について、大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。

特に、工学部における授業内容を理解するために必要な教科である数学、理科、国語、英語に関しては、下記の内容を身につけていることが望まれます。

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bの知識と論理的思考能力

理科：物理基礎、物理、化学基礎、化学の基礎的な知識

国語・英語：基礎的な読解力、表現力、コミュニケーション能力

【工業高等学校等から入学を希望する者】

各高等学校が定める教育課程に従い、すべての教科、科目について、大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。

特に、工学部における授業内容を理解するために必要な教科である数学、理科、国語、英語および機械工学・材料工学関連の科目に関して高校で学んだ科目の内容を理解していることが望まれます。

〔電気・電子情報工学課程〕

電気・電子情報工学課程では、電気・電子情報工学分野の発展を支える電気電子材料やエネルギーシステムなどの基盤技術分野や、集積化した電子デバイスやセンサー分野、無線通信システムや情報ネットワークなどの情報通信技術分野で活躍できる実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者・研究者の養成を目指しています。そのため、次のような人物を広く求めます。

- ・電気・電子工学、情報通信工学、物質材料科学に関係する知識や技術に強い関心を持つ人
- ・旺盛な好奇心を持ち能動的で自覚的に勉学に取り組む意欲がある人
- ・技術を科学的にとらえるための数学と物理学の基礎を理解し応用できる人
- ・英語および国語の学習に積極的に取り組み高度な表現力・コミュニケーション能力を養おうと考える人

入学までに履修が望まれる教科・科目等

【高等学校普通科等から入学を希望する者】

各高等学校が定める教育課程に従い、すべての教科、科目について、大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。

特に、工学部における授業内容を理解するために必要な教科である数学、理科、国語、英語に関しては、下記の内容を身につけていることが望まれます。

数学：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学活用に関する知識と論理的思考能力
理科：物理基礎，物理，化学基礎，化学に関する基礎的な知識
国語・英語：基礎的な読解力，表現力，コミュニケーション能力

【工業高等学校等から入学を希望する者】

各高等学校が定める教育課程に従い，すべての教科，科目について，大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。

特に，工学部における授業内容を理解するために必要な教科である数学，理科，国語，英語，社会および電気・電子情報工学関連の科目に関して高校で学んだ科目の内容を理解していることが望まれます。

〔情報・知能工学課程〕

情報・知能工学課程では，次世代の高度・大規模情報システムのための技術，生命・自然・社会の知に基づく新しい情報科学およびこれらの応用技術を修得し，あらゆる産業分野において先端情報システムの創造を担うことのできる実践力・創造力・指導力を備えた技術者・研究者の養成を目指しています。そのため，次のような人物を広く求めます。

- ・ 情報工学・情報通信工学ならびに情報科学に広く興味を持ち，それらの最先端分野の開拓や応用分野への展開に意欲がある人
- ・ 自然科学，数学，情報に関する基礎的な知識，論理的思考能力を持つ人
- ・ グローバルコミュニケーション能力を身につけ，国内外での活躍を志す人

入学までに履修が望まれる教科・科目等

【高等学校普通科等から入学を希望する者】

コミュニケーション能力として相手に自分の考えを説明する力があることが望まれます。各高等学校が定める教育課程に従い，すべての教科，科目について大学での勉学の基礎を履修しておくことが望まれますが，特に工学部における授業内容を理解するために，数学，理科，国語，英語に関しては，下記の内容を身につけていることが望まれます。

数学：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学Bまたは理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱの知識と論理的思考能力

理科：物理基礎，物理，化学基礎，化学，生物基礎，生物の基礎的な知識

国語・英語：基礎的な読解力，表現力，コミュニケーション能力

【工業高等学校等から入学を希望する者】

各高等学校が定める教育課程に従い，すべての教科，科目について，大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。

特に，工学部における授業内容を理解するために必要な教科である数学，理科，国語，英語および情報関連の科目に関して高校で学んだ科目の内容を理解していることが望まれます。

〔応用化学・生命工学課程〕

応用化学・生命工学課程では，応用化学・生命科学分野に関する基礎的知識を持ち，それらの知識を専門として深めることで次世代を支える技術として展開できる意欲と先端技術・知識を活用して技術的課題を解決する能力を持った実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者・研究者の養成を目指しています。そのため，次のような人物を広く求めます。

- ・ 幅広い人間性と考え方，倫理観と社会性を有し，人類と自然との共生，公共の福祉を考慮し，持続可能社会の構築・発展に貢献できる技術者・研究者を志す人
- ・ 応用化学・生命科学分野の先端技術・知識を活用して技術的課題を解決できる技術者・研究者を

志す人

- ・ グローバルコミュニケーション能力を身につけ、国内外で活躍できる技術者・研究者を志す人

入学までに履修が望まれる教科・科目等

【高等学校普通科等から入学を希望する者】

各高等学校が定める教育課程に従い、すべての教科、科目について、大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。

特に、工学部における授業内容を理解するために必要な教科である数学、理科、国語、英語に関しては、下記の内容を身につけていることが望まれます。

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bの知識と論理的思考力

理科：物理基礎、化学基礎、生物基礎の3科目に加え、物理、化学、生物の中から1科目以上の基礎的な知識

国語・英語：基礎的な読解力、表現力、コミュニケーション能力

【工業高等学校等から入学を希望する者】

各高等学校が定める教育課程に従い、すべての教科、科目について、大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。特に、工学部における授業内容を理解するために必要な教科である数学、理科、国語、英語の科目に関して十分に修得していることが望まれます。

〔建築・都市システム学課程〕

建築・都市システム学課程では、建築分野と社会基盤分野の専門技術をバランスよく修得し、都市・地域の建築・社会基盤施設およびそれらを取りまく環境を、将来を見据えてデザインするとともに、それらをシステムとしてマネジメントするための能力を有する実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者・研究者の養成を目指しています。そのため、次のような人物を広く求めます。

- ・ 自然環境、社会システム、地域文化など人間生活に関わる幅広い問題について関心を持つ知的好奇心の豊かな人
- ・ 建築・社会基盤分野の諸問題の論理的解明について学ぶことのできる基礎力を身につけた人
- ・ 創意工夫をこらした発想に富み、難しい問題に対しても主体的、積極的に取り組む意欲がある人

入学までに履修が望まれる教科・科目等

【高等学校普通科等から入学を希望する者】

各高等学校が定める教育課程に従い、すべての教科、科目について、大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。

特に、工学部における授業内容を理解するために必要な教科である数学、理科、国語、英語、社会に関しては、下記の内容を身につけていることが望まれます。

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学活用の知識と論理的思考能力

理科：物理基礎、物理、化学基礎、化学、生物基礎、生物の基礎的な知識

国語・英語：基礎的な読解力、表現力、コミュニケーション能力

社会：地理歴史、公民の基礎的な知識と社会的素養

【工業高等学校等から入学を希望する者】

各高等学校が定める教育課程に従い、すべての教科、科目について、大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。

特に、工学部における授業内容を理解するために必要な教科である数学、理科、国語、英語および建築学、土木工学関連の科目に関して高校で学んだ科目の内容を理解していることが望まれます。

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



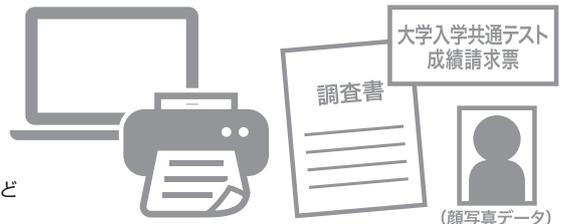
STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
出願書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※出願書類… 調査書、顔写真データ、大学入学共通テスト成績請求票など
詳細は募集要項参照



STEP

2

インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト

<https://e-apply.jp/ds/tut/>

または、

大学ホームページ

<https://www.tut.ac.jp/exam/collect.html>

からアクセス



STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので**ログアウト** ボタンをおしてください。

STEP

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑥出願内容の確認
出願確認票(サンプル) ボタンを
クリックすると出願確認票が確認できます。



⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※検定料納入後に出力可能となります。

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
番号メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁) **5 8 0 2 1** ※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機
または
Famiポート

あなたもコンビニに
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

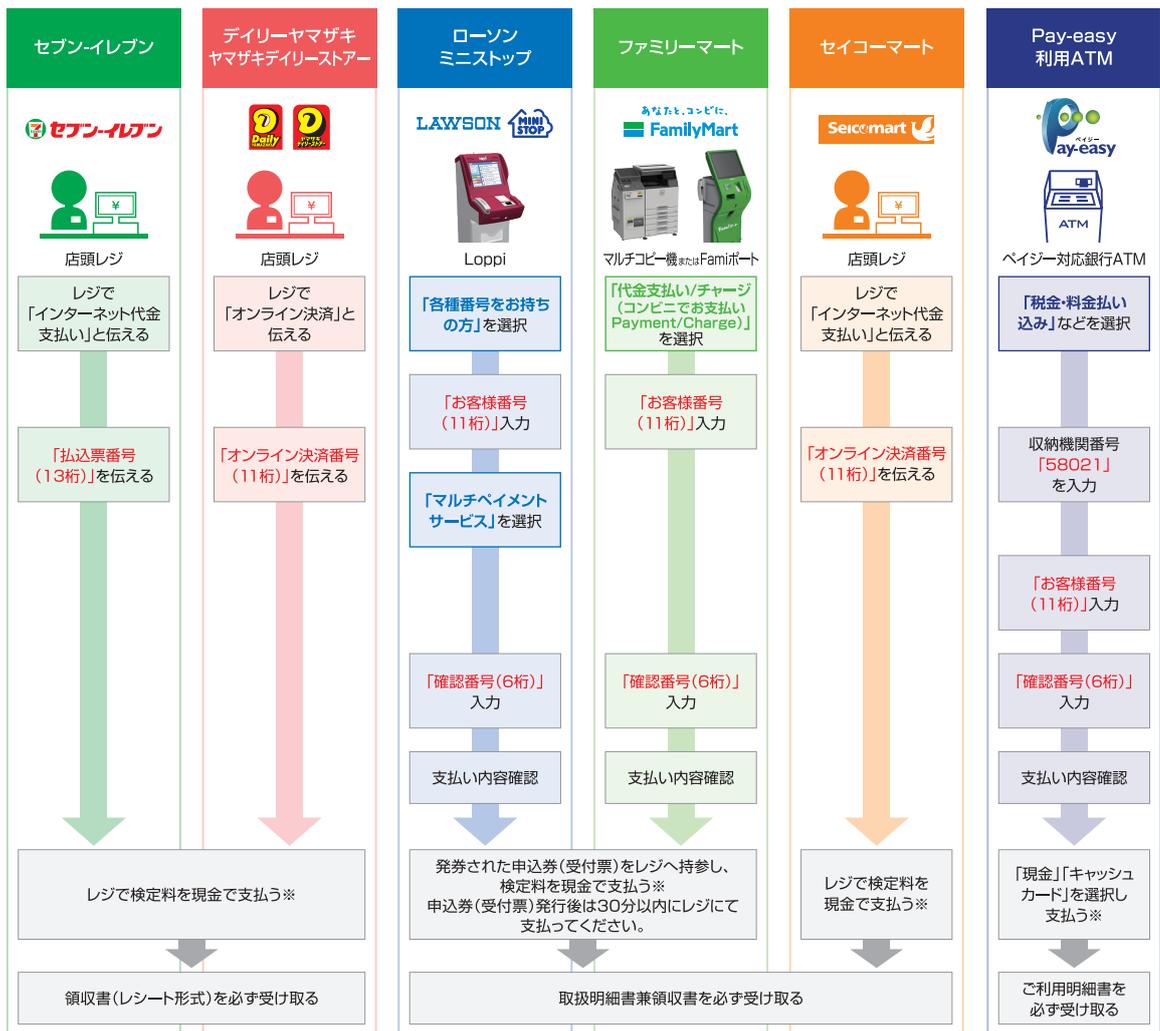
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

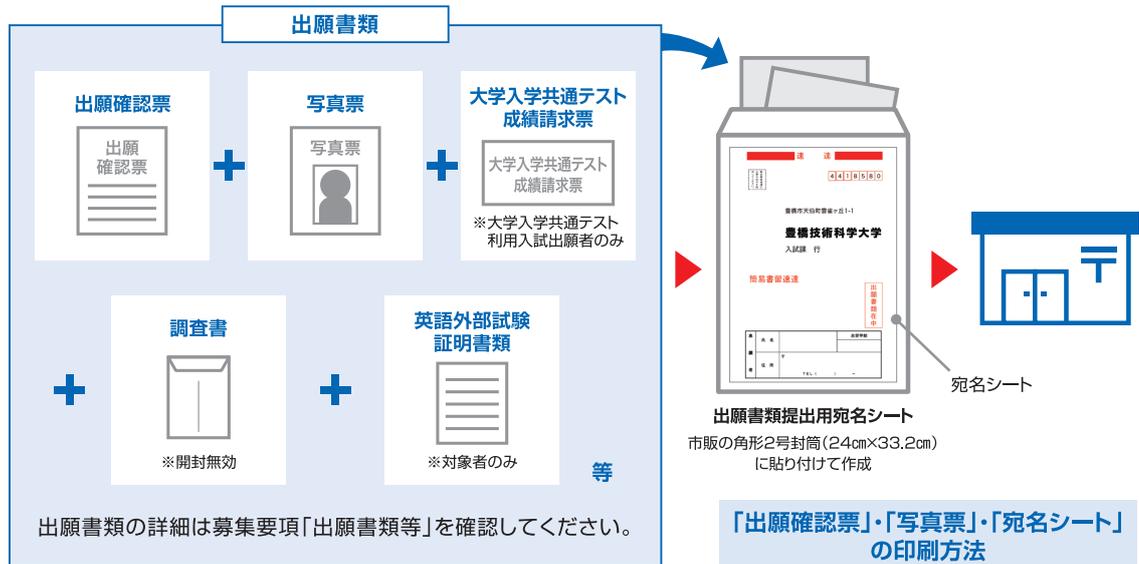
STEP

6

出願書類の印刷と郵送

登録だけでは出願は完了していませんのでご注意ください。

出願登録、検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、その他の出願書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送してください。



送付先

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
豊橋技術科学大学入試課 行

※出願受理した検定料・出願書類は一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、検定料を支払い、出願書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんのでご注意ください。

インターネット出願は24時間可能です。募集要項に記載の期間までに、出願登録、検定料の支払いを行い、出願書類を郵送してください。

STEP

7

受験票の印刷

本学で出願を確認後、各入試毎に募集要項に記載のある受験票印刷可能日から一斉に受験票を配信します。インターネット出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

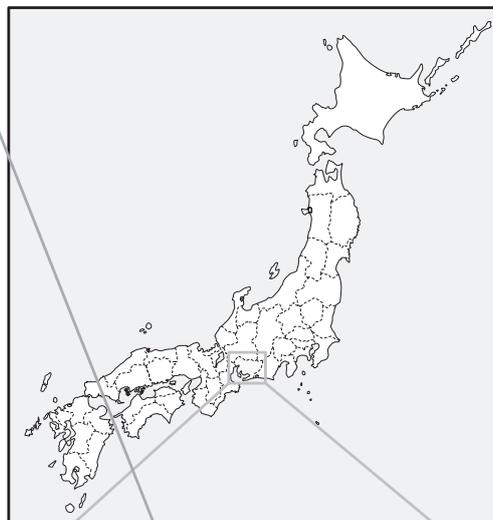
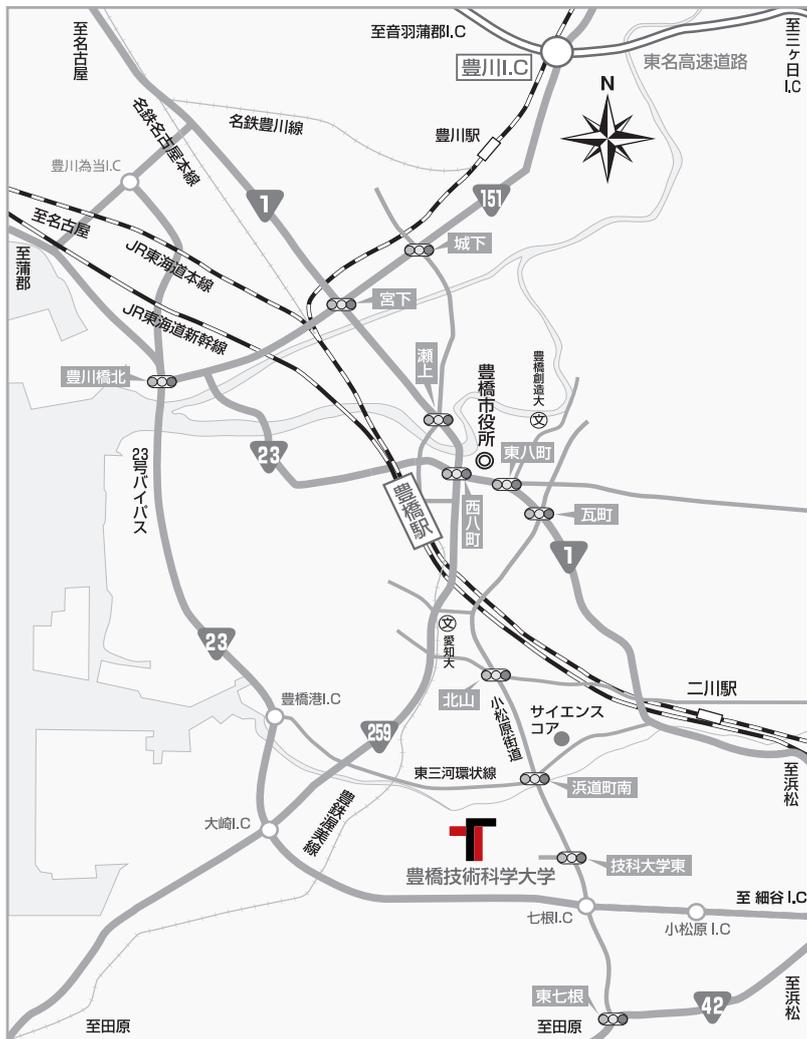
【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に片面印刷にしてください。



受験票

氏名: ○○○○
入試: ×××入試

国立大学法人 豊橋技術科学大学交通案内

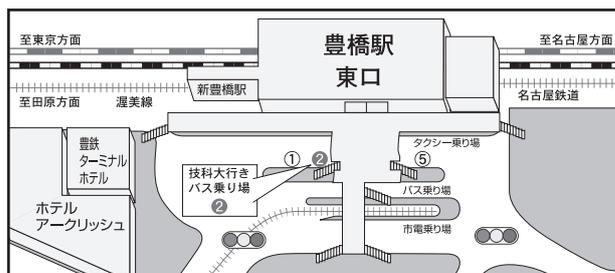
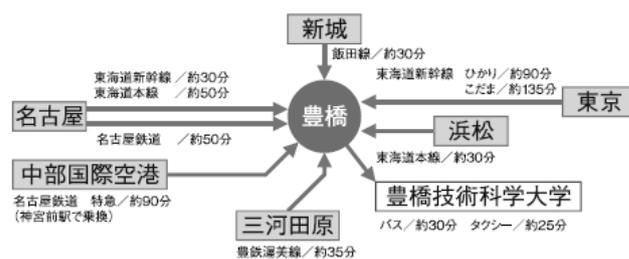


豊橋駅まで

- 東海道新幹線** 名古屋駅から豊橋駅まで約30分
東京駅から豊橋駅まで「ひかり」で約90分
「こだま」で約135分
- 東海道本線** 名古屋駅から豊橋駅まで新快速で約50分
浜松駅から豊橋駅まで約30分
- 名古屋鉄道** 名鉄名古屋駅から豊橋駅まで特急で約50分
中部国際空港駅から豊橋駅まで
特急で約90分（神宮前駅で乗換）

豊橋駅より

- バス** 豊橋駅東口2番のりばから
豊鉄バス豊橋技科大線に乗車
『技科大前』で下車 所要時間約30分
- タクシー** 豊橋駅前から南へ8.2km 約25分
(豊橋駅～技科大 約3,000円)
- 自家用車にて** 東名高速道路 音羽蒲郡I.C.または豊川I.C.から約1時間



お問い合わせ先

〒441-8580

愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

豊橋技術科学大学 入試課

TEL : 0532-44-6581

FAX : 0532-44-6582

E-mail: nyushi@office.tut.ac.jp

URL: <https://www.tut.ac.jp/>